



2025年4月、理工学部 誕生！ 「茨木総持寺キャンパス」新校舎開設！

Ranking

西日本 第4位
大阪 第2位

朝日新聞出版大学ランキング

総志願者の増加数
(2024年と2020年の比較)

Ranking

全国私立大 第14位
西日本私立大 第4位
大阪私立大 第3位

進路指導教諭が評価する大学

改革力が高い大学

文理を備えた総合大学へと進化を続ける追手門学院大学。学部増設・学部定員増によって、入学者数は2020年の約2,100人から2025年は約2,600人に増加。収容定員数も約1万人に近づいています。学部増設による多様化と並行し、キャンパスの規模拡大と再編を進めています。

2019年に新設した茨木総持寺キャンパスには、改革の象徴となるシンボリックな校舎「Academic Ark」があります。様々な人が集い、交流する拠点として、教室内外を問わず学び、議論できる空間が広がっています。

また、2025年には新校舎「Academic Base」が誕生。約8,000人の学生が学ぶ教室・研究室・本部機能を備えたキャンパスに生まれ変わりました。全長250m、地上6階建ての巨大な校舎は学生一人ひとりが社会へと飛翔する「知の拠点」。1階には広いフリースペースと約600人収容できるホールを設置。学びと交流を促すエリアを配置することで、文系・理系、学生と教職員、大学と地域など様々な知が集い、協働が加速するイノベーション拠点となっています。

人文社会科学系の私立大学として実績を積み重ねてきた追手門学院大学。近年は、文理融合型の大規模総合大学へと大きな成長を遂げています。2021年には心理学部に理系領域である人工知能・認知科学専攻を設置。2022年には国際学部と文学部の2学部を開設し、文学部に建築士の資格取得もできる美学・建築文化専攻を開設。2023年には法学部を開設しました。2025年4月には新たに理工学部を設置。数理・データサイエンス学科、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科の4学科体制で、伝統的な分野から先端的分野までを網羅しています。改革を進め、アクセスも良くなったことで、大学の入試志願者数は毎年増加し続けており、志願倍率も上がってきています。

教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進にも積極的に取り組んでいます。GPAや外部試験のスコア、資格数など数値データを収集し、新たな学修管理システムを導入して日常の学習姿勢を含めたさらなる多様なデータを自動的に収集。将来的にはAIによるティーチング・アシスタント・システムの構築を目指しています。

Information

2025年4月新校舎開設「Academic Base」



学部/学科情報

- 理工学部／数理・データサイエンス学科、機械工学科、電気電子工学科、情報工学科
- 文学部／人文学科(日本文学専攻、歴史文化専攻、美学・建築文化専攻)
- 国際学部／国際学科(グローバルスタディーズ専攻、国際文化専攻)
- 心理学部／心理学科(心理学専攻、人工知能・認知科学専攻)
- 社会学部／社会学科(社会学専攻、スポーツ文化学専攻)
- 法学部／法律学科
- 経済学部／経済学科
- 経営学部／経営学科(経営・マーケティング専攻、ビジネス法務専攻、ビジネス心理専攻、情報システム専攻)
- 地域創造学部／地域創造学科

主な Ranking Data

キャンパスがきれいな大学	受	大阪私立大第4位
面倒見が良い大学	進	大阪私立大第4位
学生サポートが充実している大学	受	大阪私立大第5位
教育力が高い大学	進	大阪私立大第5位